

ハマフエフキの中間育成

安井理奈^{*1}・甲斐哲也^{*2}

1. 目的

放流用、養殖用ハマフエフキ種苗の生産

2. 材料と方法

中間育成は、5月1日から7月13日まで行った。生産した種苗のうち、中間育成せずに出荷した約4万尾を除く約28万尾を飼育した。飼育には、屋内50t及び100t円形水槽及び50t水槽を使用した。

配合飼料、中国産冷凍コペポーターを給餌し、無加温で飼育した。

出荷時には小型の個体と奇形魚の選別を行い、ベルトコンベアー式のフィッシュカウンター及び人力で計数を行った。

3. 結果

中間育成結果を表1に示した。選別した奇形魚は少なかったがやや小型の種苗まで除いた結果中間育成の生残率は例年より低くなった。

育成期間中はおおむね順調な生産であったが1水槽で突然約4,000尾が数時間のうちに全滅したことがあり、水産研究センターに魚病検査を依頼したところ、原生動物(ウージニウム?)によるものではないかとのことであった。

放流用として87,000尾、養殖用として87,500尾の要望数を全数満たして中間育成を終了した。

表1 ハマフエフキ中間育成の状況

生産回次	1	2	3	4	5	6	7
開始尾数 尾	50,500	68,700	11,200	-	71,400	70,000	-
取上尾数 尾	48,000	67,000	6,630	-	70,100	65,500	-
取上時生残率	95%	98%	59%	-	98%	94%	-
選別後の尾数	28,600	34,700	選別せず	-	11,450	42,100	-
水槽規模 m ³ , 槽	50*2	100*1 50*1	-	-	50*3	100*1	-
飼育日数 日間	15	36	36	-	20-34	31	-
飼育水温	23.2-24.8	23.1-25.0	-	-	25.0-27.8	25.0-27.8	-
種苗生産開始からの飼育日数 日間	72	85	84	-	75-89	83	-
取揚全長範囲 mm	46.0-64.7	48.2-68.6	31.8-60.5	-	31.1-81.4	40.7-79.9	-
取揚平均全長 mm	54.1	60	46.4	-	51.41-71.9	64	-
取揚尾数 千尾	48	67	13	-	70	65	-
生残率(通算)	0.90%	1.74%	0.48%	-	1.25%	0.81%	-
用途	養殖	養殖	放流	-	放流・養殖	放流・養殖	-
配布サイズ mm	54	60	46	-	51-79	64	-
配布価格 円/尾	43.2	48	18.4	-	20.4-56.8	25.6	-

*1 現在の勤務先:海洋深層水研究所

*2 現在の勤務先:水産部漁港漁場課